

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>ただいまから、平成27年度第3回入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を開会いたします。</p>
田代参事	<p>それでは、大杉会長よりごあいさつをいただきたいと思います。</p> <p>大杉会長お願いいたします。</p>
大杉会長	<p>(挨拶)</p>
田代参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>議長につきましては、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第1項の規定で、会長が会議の議長となる旨が定められておりますので、大杉会長に議長として以後の進行をお願いいたします。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方のご協力をいただき会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は、10人です。よって、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第2項の規定により、会議は成立しております。</p> <p>なお、小林委員から欠席の届出をいただいております。</p> <p>本日の議題は、4点ございます。1点目は「平成28年度地域包括支援センター事業計画について」、2点目が「地域密着型サービス施設の</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>整備について」、3点目が「地域密着型サービス事業所の指定について」、4点目が「その他」となります。</p> <p>はじめに、「平成28年度地域包括支援センター事業計画について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
下村主幹	<p>(資料 No. 1-1～資料 No. 1-5 平成28年度入間市地域包括支援センター事業計画について 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>地域包括支援センター事業計画書は非常に貴重な資料になりますので、是非熟読していただき、ご意見・ご質問がございましたら、地域支援担当、もしくは次回会議にてお願いいたします。</p> <p>地域ケア会議についてや、生活支援体制整備事業での第2層協議体の設置、認知症地域支援推進員の配置等、難しい内容となっておりますが、何かご質問等ありますでしょうか。</p>
春名委員	<p>認知症地域支援推進員とありますが、どういった方がなるのでしょうか、介護関係の職員もなることができるのでしょうか。</p>
下村主幹	<p>地域包括支援センター(以下、「包括」という)の3職種であれば認知症地域支援推進員になることができます。市の方で特に指定はしておりません</p>
春名委員	<p>生活支援コーディネーターとありますが、どういった方がなるのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
下村主幹	<p>生活支援コーディネーターは地域を良く知っている方で、福祉の実状を理解していただいている方になります。職種に関する規定はございません。第2層についてはすぐにコーディネーターの配置を行うことは考えておりませんが、第1層に関しては、協議体、コーディネーター共に早い段階での設置を検討しております。また、第2層の日常生活圏域に関しては入間市では包括圏域毎の設置の予定となっております。</p>
鈴木委員	<p>生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員の配置とあるが、増員というわけではないのですか。今いるメンバーが兼務でやるということなのですか。</p>
下村主幹	<p>業務の部分に関しては、介護予防事業に係る事務量を減らすことにより、増員ということではなく、兼務という形で行います。</p>
松本委員	<p>西武地区は高齢者人口が非常に多く大変かと思いますが、そこに加えて業務を増やすことに関しては可能なのですか。</p>
川名委員	<p>今回加算のついた事業に関しては、これまで包括の職員はすでに行っていた内容だと思います。今回、これまで行ってきた内容が項目として明確になっただけのように感じます。ただ、人員を増やさないのであれば、包括の職員に対し過度に業務を課すことで、現在やっている業務が薄まらないように気を付けていただきたい。</p>
議長(大杉会長)	<p>新しい事業は大事であるが、非常に複雑であり、そこに注力しすぎることで、包括の職員の業務を圧迫しすぎないようにしていただきたい。包括職員の業務を円滑にすすめるためにも配慮をお願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>川名委員からのご指摘のとおり、今回加算をつけさせていただいた項目に関しては、新規事業というよりはこれまですでに取り組んできていただいていた事業でございます。特に地域ケア会議に関しては、在宅介護支援センターの時代からも重視されており、当時の委託料にも加算をつけるなどして、事業の重点化を図ってきました。包括からすれば、これまで取り組んできたことが改めて位置づけられた形になります。また、社会福祉法人をはじめとする包括を受託する経営者側からも常々、委託料の配慮の要望がございましたので、これで十分とは思いませんが、そういったことに応える意味でも実績に対して加算と言う形で配慮させていただいています。新しい第2層の協議体に関しても、包括を立ち上げた際から、地域の問題を話し合う組織を地域個別会議とは別に運営方針の中で市からもお願いしてまいりました。包括の職員体制ですが、高齢者人口3000人～6000人で3名という規定がございます。宮寺・二本木地区でも高齢者人口が3000人に近づき、1名増員します。西武地区に関しては今後6000人を超えることが予想され、市の課題であると十分認識しております。包括の数を増やすというよりも4人体制、5人体制等、増員といった形で考えていきたいと考えています。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>在宅ケアネットいるま、元気であるネ！ットといったものがありますが、包括との関係、また現状等何かございましたら教えていただきたい。</p>
田代参事	<p>二つのネットワークに関しましては、基本的に包括は重要な位置づけとして関わっております。このネットワークは、包括を含めた福祉系だけでなく、医療系も含めたネットワークであることが特徴です。28年</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>度早々に入間地区医師会が健康福祉センター内に在宅医療・介護連携支援センター（仮）を配置します。県の基金を活用し、医師会が自ら医療・介護に精通した専従の相談員を配置し、地域包括ケアシステムの推進を行います。これまでは相談が持ち込まれた際は、在宅医療の担当理事である小林先生と相談し、在宅医療の希望が叶えられるよう取り組みを行ってまいりました。なお、平成30年からは運営経費は地域支援事業費の枠組みで行うこととなります。そういったこともあり、市としても大きな期待と活用を考えているところです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんから他に何かありますでしょうか。</p> <p>それでは、次に参りたいと思います。</p> <p>2点目「地域密着型サービス施設の整備について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
岩田主幹	<p>(資料 No. 2 平成28年度地域密着型サービス事業者の公募及び選定について 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明について、ご質疑、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
議長(大杉会長)	<p>ホームページにてお知らせをするとのことですが、より広く周知する方法はあるのですか。少しでも多く応募していただきたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田主幹	<p>現状、広報とホームページの2つ方法ですが、すでに何時ごろ応募があるのかといった問い合わせがございます。しかしながら、定期巡回・随時対応型訪問介護看護に関しては、厳しい状態となっております。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございます。大変だとは思いますが、応募していただけるよう力を入れていただきたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>定期巡回・随時対応型訪問介護看護ができないと、在宅医療・介護が進まないと思います。現状応募が進まない理由は何と考えていますか。</p>
田代参事	<p>必ずしも分析できているわけではございませんが、24時間体制であることがネックであると考えます。また、社会福祉法人が行う場合は訪問看護のナースステーションの協力が必須であり、医療法人が中心になるかと思えます。医療法人に運営方針があるのかどうか、人件費等の採算の問題があるかと思えます。看護職には女性が多く、真夜中に女性が自宅に訪問すること、その際の気遣い等、それを24時間継続することは単独での実施が難しいと思います。そのため、訪問看護等のベースがある法人が取り組んでいるところが多くなっています。入間市の医療機関でも積極的に訪問看護に取り組んでいるところがありますが、看護小規模多機能型居宅介護が今年の秋に宮寺地区にできる場所ですので、そこから事業の展開が出来ればと思いますので、関係者の方と協議をすすめていきたいと思えます。</p>
議長(大杉会長)	<p>大切なことですので、応募していただいて、是非、実現をお願いします。</p>
水上委員	<p>グループホームは現在、入間市内でも何箇所かありますが、空きがあ</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩田主幹	<p>ると聞きました。グループホームのニーズは高いのですか。</p> <p>確かに空きがある場所もございます。お金がかかってしまう部分がネックとなっておりますが、常に空きがあるわけではなく、空きが出来ても徐々に埋まっている状況です。今年度、宮前町に新しくできたグループホームにおいて、当初なかなか埋まらなかったということはございましたが、結果的には埋まってきております。</p>
水上委員	<p>負担限度額の適用にならないため、入りたくても入れない人も多いのではないのでしょうか。今後、認知症の人が増えていく中で非常に大事な施設だと思います。お金の問題は非常に難しいとは思いますが、なんとかかなればと思います。</p>
近藤副参事	<p>ご存知のことと思いますが、グループホームの場合、従業員数と利用者数の関係が他の施設に比べても手厚くなっているため、単位が高くなってしまい、自己負担額も高くなってしまいます。</p>
議長(大杉会長)	<p>費用が問題となっているということで、公費の補助等があればありがたいですが、財政が厳しいなか難しいことだと思います。お金の関係は難しく、少しでも安い施設があればありがたいですね。</p>
臼井副会長	<p>所沢市のグループホームだと月17万～20万円ほどかかってしまいます。特別養護老人ホームの多床室であれば、ご本人の収入にもよりますが8万円くらいで入れるところもあります。ただし、順番待ちであり、グループホームと並行して申込みをされる方もいます。グループホームの場合は入れますが、お金をどう工面するかがネックになります。そのため、空いていてもなかなか埋まらないこともあるのではと思いま</p>

発 言 者	発 言 内 容
高野委員	<p>す。</p> <p>入間市のグループホームに関して色々聞いたところ、およそ15万～16万円で若干所沢市よりも安くなっています。特別養護老人ホームでもユニット型になると高くなります。私の施設では月12万円程度で入れる部屋があり、生活保護受給者の方も何名か入所しています。しかしながら、それは企業努力であり、部屋代等を安くする等で可能にしています。そういった企業努力がなければ、どうしても15万円はかかってしまいます。</p>
議長(大杉会長)	<p>市では各施設の金額等を調査したものはございますか。</p>
田代参事	<p>把握はしておりますが、経営者側からすれば営業妨害にもなりかねませんので、それを公表することはできません。</p>
高野委員	<p>グループホームの連絡協議会が昨年立ち上がり、お互いの施設の空き状況等を情報共有し連携を取り合っています。その中で年金収入が20万円以上の人が入る施設としてはグループホームは安いのではないかという意見がありました。ですので、グループホームの認知度が低いのではないかと思います。老人保健施設や特別養護老人ホームの個室の方が高い部屋もある中で、部屋が埋まらないのはグループホームの宣伝が足りないのではないかという話になり、最近ではありますが、ケアマネジャーの人達とグループホームの人達とで交流をもち、勉強会を開きました。今、グループホームの人達は自助努力を始めています。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>つぎに、「地域密着型サービス事業所の指定について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
粕谷主幹	<p>(資料 No. 3 地域密着型サービス事業者の指定について 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明に対して何かありますでしょうか。</p>
議長(大杉会長)	<p>次に、「その他」について、何かありますか。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
粕谷主幹	<p>(資料 No. 4 - 1 小規模通所介護事業の地域密着型サービスへの移行について 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>何かご質問はございますか。</p>
議長(大杉会長)	<p>小規模型から大規模型、通常規模型のサテライト型事業所に移行する事業所はあまりないのですか。</p>
粕谷主幹	<p>今のところ情報はございません。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	次は介護予防・日常生活支援総合事業について事務局よりお願いします。
下村主幹	(資料 No. 4-2～資料 No. 4-4 介護予防・日常生活支援総合事業について 説明)
議長(大杉会長)	平成28年3月より介護予防・日常生活支援総合事業が始まったということでその説明をしていただきました。川名委員は介護予防事業と関連して事業をされてきましたが、どういった印象でしょうか。
川名委員	印象としましては、今までよりも介護予防を受けるチャンスが少なくなっているように感じます。これまでは、1次予防事業、2次予防事業、フォロー事業やまた自主的なものもあったようですが、最近は様子を見ている状態です。これでできるのか等、様子見の状態ではありますが、いずれ介護予防・日常生活支援総合事業が始まっていく中で、皆さん工夫をして行っていくと思います。
議長(大杉会長)	鈴木さんはいかがでしょう
鈴木委員	お金がなければできなくなるといった話は聞きます。ボランティアの中で思うことは、自分の体のケアは自己責任であるということ。積極的に参加する場所、機会は十分にあるように感じます。まずは積極的に参加して体のケアを考えて行動して欲しいと思います。
川名委員	これまでは基本的には自己負担はありませんでしたが、今後は自己で負担していただく必要があると思います。これまでは主催者側が苦勞をしてきましたが、高額でなくても300円～500円など、少額のご負

発 言 者	発 言 内 容
	<p>担でよいので、していただかないと続けられなくなっています。このままでは、私たちが高齢になったときに事業が続いていないのではないかと不安に思います。ある程度の有料化を今後は参加する側も視野に入れる必要があると思います。そのため、参加する側の意識の改革が必要ではないでしょうか。ボランティアは続かない、新しい担い手も来ないということになってしまいます。行政と協力して考えを変えていく工夫をしていきたいです。</p>
鈴木委員	<p>私も川名委員と同意見です。また、それと同時に経済格差が広がっているということも考えないといけません。介護保険、介護予防事業はセーフティネットです。経済格差によって、受けられるサービスが変わってしまうということがないように、あまり高額な負担にならないよう対応していく方法を考えないといけません。しかし、本来自分の体を守るのは個人の責任であり、お金を出せる人であれば、是非お金を出してケアしてもらいたいと思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>以前、国のお金の7割が高齢者に使われており、働く若い世代には2割程度しか使われていないというのを見ました。そこには、若い人にお金をまわしていくような政策も必要ではないかと書いてありました。所得格差ということで色々なサービスで格差が生じてきています。鈴木委員のおっしゃったように少しでも負担を少なくすると同時に、自分の体のケアに投資していかなければならないと思います。今は、全てが無料という時代ではないと思います。今後はある程度の有料事業が出てきます。これが高額になってしまうと格差が出てきてしまいます。介護予防・日常生活支援総合事業が発展していくためには、サービスを受ける高齢者の考えを変えていかなければならないと思います。今後、介護予防・日常生活支援総合事業が始まったことを伝えていただき、何が必要</p>

発 言 者	発 言 内 容
春名委員	<p>なのかを話し合ってもらいたと思います。</p> <p>それでは、何かありますでしょうか。</p>
春名委員	<p>訪問型サービスBは市の事業としてやるのですか。コミュニティビジネス化の流れはないのですか。</p>
下村主幹	<p>訪問型サービスBは住民主体のサービスであり、立ち上げ等に対して市が支援を行うことはありますが、市がボランティアの方の管理等を行うということはありません。出来る範囲のことは支援させていただきますが、基本は住民主体の方で立ち上げていただき、運営していただくこととなります。</p>
春名委員	<p>東藤沢の地域には「ささえあい東藤沢」がありますが、住民主体のサービスとして入るといえるのでしょうか。</p>
下村主幹	<p>ささえあい東藤沢が訪問型サービスBに入ることはできると思いますが、ささえあい東藤沢が訪問型サービスBの枠に入るかどうかはわかりません。また、委託ではなく補助という形になります。</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p>
議長(大杉会長)	<p>次に西武地区地域包括支援センターの移転について事務局よりお願いします。</p>
岩田主幹	<p>(資料 No. 4 - 5 西武地区地域包括支援センター移転について説明)</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>西武地区地域包括支援センターが4月1日に西武公民館に移動するとうことでした。こういった形で公の施設に移動することは市民にとってもありがたいと思います。</p> <p>このことについて何かありますでしょうか</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に事務局から何かありますでしょうか。</p>
下村主幹	<p>次回の平成28年度第一回は7月上旬を予定しております。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、本日の全ての議題を終わりましたので、議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
田代参事	<p>大杉会長、ありがとうございました。</p> <p>最後に閉会のご挨拶を臼井副会長、お願いいたします。</p>
臼井副会長	<p>以上をもちまして、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を閉会とさせていただきます。どうもご苦労さまでした。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議 長 の 署 名 _____